

令和6年度生命(いのち)の安全教育 報告書

園名・学校名 長崎県立鶴南特別支援学校

実施日 令和 6年6月24日(火) 10:40 ~ 12:25 (100 分)

場 所 中学部1学年教室、音楽室

講 師 役職:学級担任(保健体育担当)

形 態 ・授業(教科:保健体育) ・講話
 ・職員研修等(職員対象) ・その他()

参加者	幼児・児童生徒 学年(中学部1年生) (28) 人	園・学校職員 (11) 人	保護者 () 人	その他 () 人
				() 人

テーマ 「思春期のからだの成熟による変化と自分のからだを守ることについて」

内 容

内容(具体的に)

- ・隣に座っている生徒や教師と実際に手の大きさや身長、足の大きさなど比較し、年齢、性別、個人差があることを気付かせ、数名の生徒に発表させた。
- ・状況別の着衣や、男女一緒に利用するの可否かを考えさせた。
- ・思春期における体の変化について教科書のイラストを使って学習に取り組ませた。
- ・隠すところについて、スライドで提示し、ワークシートで確認させた。
- ・実際に水着に着替えさせ、どうすればプライベートゾーンを隠しながら着替えることができるか考えさせ、発表させた。

<成果や幼児・児童生徒の行動変容等>

- ・生徒たちは、男女の違いを示したスライドを観た後、手足の大きさを生徒同士で積極的に比較する様子が見られた。
- ・実際に水着に着替える際には、学んだプライベートゾーンを意識し、他人に見せないようにタオルを使って隠そうとする様子が見られた。本時のねらいである自分及び自分以外の体を大切にすることについてよく考えていた。
- ・生命の安全教育のベースとなる部分はしっかりと押さえることはできていた。

<今後の課題と自校(園)の取組等>

- ・学んだことの記憶が断片的になりやすい生徒が多いため、日頃の制服から体操服への着替えの場面においてもプライベートゾーンを意識させるような指導を繰り返し行う必要がある。

<当日の様子>

スライド



ワークシート

